

祝辞（北条中学校卒業式）

卒業生のみなさん ご卒業おめでとうございます。

みなさんの3年間の中学校生活はどうだったでしょうか。大きな期待を持って、入学されたと思いますが、新型コロナウイルスに翻弄された3年間だったと思います。日常生活だけでなく学校生活も、イベントの縮小や中止など思い通りにならなかったりで、我慢する場面が多かったと思います。しかしながら、このことで忍耐力やどうしたら楽しく過ごせるかなど考える力もついたと思います。このことは、今後の人生に必ず生きてきます。

そんな中でも、私も拝見させていただきましたが、運動会では、これぞ3年生という表情、演技で後輩に「全力で楽しむ」ことを伝えられました。大勢の保護者や地域のみなさんに元気をくれました。また、「なかにわプロジェクト」では、中心的な役割をされ、全校の一体感を創りあげられました。「大人も子どもも寄っという ほうじょう大トーク大会」では、「日本一住みよい町 北栄町をめざして」として、真剣に北栄町の現状、そして未来のことを考えていただきました。とても、頼もしく思えました。北栄町の未来は、明るいと思いました。

私から、皆さんへ言葉を贈りたいと思います。それは、目標を持って、それを達成するために頑張ってください、ということです。できれば、期限を決めて達成できる

ようお願いします。目標達成について、お話します。大リーグ、ドジャースの大谷選手の高校1年生の時に作って、実践した“目標達成シート”という有名な話があります。9個のマスの中真ん中に大目標をかいて、その周りにそれを達成するための中目標をかき、さらにその周りにそれを達成するための小目標をかいていく。大目標は、最後はこうなりたいと、中目標は期限を決めて頑張ること、小目標は毎日頑張ること。目標をしっかりとて、身近な目標から達成し、大きな目標に向かって頑張ってください。

近年、北栄町は人口の1%が毎年減少しています。このまま減少していくと、これまでできていたこともできなくなります。このため、そうならないよう、持続可能なまちとなるよう、子育て支援や産業の振興などに取り組んでいます。

令和7年4月に「道の駅ほうじょう」がリニューアルオープンします。年間33万人の来場者を見込んでいます。令和8年度には、「山陰道北条道路」も開通予定です。令和9年には「青山剛昌ふるさと館」も新築を計画しています。5年で100万人の来場者を見込んでいます。今より、もっと多くの方が北栄町を訪れるようになります。これから、北栄町はどんどん賑やかなまちになってきます。

将来、町外、県外、あるいは外国に出ていくことがあるかもしれませんが、ですが、この北条中学校で学んだこと、北栄町のことを忘れず、知識や経験を身に付け、北栄町の発展のために力を貸してほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、このように立派に成長されたお子さんの姿を前に
感激もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。今後もしっかり向き合って、家
族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしくお願
い
します。

そして、校長先生をはじめ、熱心にご指導いただきました先生方のご苦勞に対し、
敬意と感謝の意を表しますとともに今後もあたたかく見守っていただきたいと思いま
す。

卒業生のみなさんの健やかな成長と光輝く前途を祝し、お祝いのことばとさせてい
た
た
だ
き
ま
す。

令和 6 年 3 月 8 日

北栄町長 手嶋俊樹